

平成19年度 第1回平田地域協議会 会議記録（抜粋）

○日 時 平成19年4月11日（水）午後2時30分～4時50分

○場 所 酒田市平田総合支所 大会議室

○出席委員 13名 1号委員 丸山賢治、阿部時男、齋藤孝雄、高橋絹子、西田 克、菅原律子

2号委員 佐藤富雄、小林隆逸、富樫文雄、佐藤良二

3号委員 佐藤達也、富樫美雪、藤原幸雄

（※1号委員：公共的団体推薦、2号委員：識見委員、3号委員：公募委員）

○欠席委員 2名 1号委員 今井英夫、石川敏行

○職 員 平田総合支所長：佐藤富雄、地域振興課長：齋藤啓一、市民福祉課長：久松勝郎、建設課長：鈴木良寿、産業課長：尾形 力、教育振興室長：齋藤善和、地域振興課課長補佐：石川忠春、地域振興主査兼地域振興係長：佐藤良広、地域振興係：高橋 慎、加藤千佳子

○傍 聴 者 2名

< 協議会次第 >

○市民憲章の唱和

1. 開 会
2. 委嘱状交付
3. 酒田市長あいさつ
4. 委員、職員自己紹介
5. 地域協議会の趣旨と仕組み等についての説明
6. 会長及び副会長の選出
7. 正副会長あいさつ
8. 会議録署名委員の選出
9. 報 告
 - (1) 平成19年度の地域づくり予算等について
 - (2) 総合計画の策定状況について
10. 協 議
 - (1) コミュニティ振興組織について
 - (2) 協議会の今後の予定について
 - (3) その他
11. 閉 会

- 開会に先立ち、マスコミより写真撮影の依頼があること、欠席連絡があった委員を報告。
- その後、全員で酒田市市民憲章を唱和し、開会する。

1. 開 会 … (進行を務める齋藤地域振興課長が開会する。)

2. 委嘱状交付

(酒田市長より委員に委嘱状が手渡される。)

3. 酒田市長あいさつ

只今委嘱状を交付したが、皆さんにはこれから2年間、地域の各界各層の代表として地域振興のための提案、そして地域の皆さんの疑問や不安、建設的な意見等を市役所、支所に伝える役割などに大いに期待している。合併から1年半、色々な一体化のための事業をやってきた。私自身は地域の一体化が急速に進んでいると感じている。その一方で、平田地域では地域の独自性を出し、産業面では特産品を大いにPRし、ファームステイ、グリーンツーリズムなど、合併し一色になるのではなく地域の良さをどんどん伸ばしていただいている。皆さんのご尽力に期待し楽しみにしている。

さて、今まで一体化や制度の調整等をしてきたが、新年度は継続的な事業についてもしっかりと進めていく。合併支援として飛鳥バイパスは前倒しで事業が進むという話も受けている。建設計画に盛り込まれた事業では、小林温泉や町民体育館の手直し、六ヶ村排水についても具体的な調査に入り少し事業費を確保するという対応もする。

また、平田地域の皆さんの懸念である中山間地域における過疎化、少子高齢化の問題という大きな課題に対しては、コミュニティ振興組織を作り、地域でもっと支えあう体制を作るという提言もさせていただいている。この会でも積極的に対応いただき大変ありがたい。この件については、私は地域の独自性があっていいと思っており、特に平田地域は他地域と少し違った考え方で公民館を運営してきたので、それを皆さんがよろしければ生かすことも必要だとも思っている。一方で、新年度はコミュニティ組織への助成の仕方を示し皆さんとの協議を具体化するよう市役所にも必要な指示をしている。近々具体的な提言があると思うので、前向きな議論を進めていただきたい。少子高齢化の中、ともに支えあうという体制をどうやって構築し、そこに市役所がいかに適切な支援ができるかが地域の維持発展の大きなポイントだと考えているので、皆さんにはその議論をよろしく願いたい。

この地域の発展振興に向け皆さんからは大きな夢や希望を語ってもらいたい。それを全部できるのは約束できないが、1回ぐらいホラを吹いても良いと思う。それが夢を語るということであり、具体化するのが市役所の仕事である。病院の統合や高校再編など地域の皆さんの不安があり、平田診療所の件は合併後の問題点がひとつ出たように感じているが、職員が地域の意見をしっかりと吸い上げ、不安を解消していくことは重要な仕事である。しかし、皆さんからも地域の方の意見を吸い上げこの場で

議論し、また地域へ戻していただく役割も果たしていただきたいと思う。

2年間、活発な議論と皆さんのご協力を重ねてお願いし挨拶とさせていただきます。

4. 委員、職員自己紹介

(各委員、職員が各自自己紹介を行う。内容は省略。酒田市長が退席。)

5. 地域協議会の趣旨と仕組み等についての説明

(地域振興課長より設置条例、施行規則、会議運営規定について説明し確認する。)

(富樫美雪委員がやむを得ない事情により途中退席する。)

6. 会長及び副会長の選出

(地域振興課長より選出の方法について諮る。事務局一任の声あり、最年長委員である佐藤良二委員を仮議長として会議を進行し、会長の選出をすることとなる。協議において2名が会長候補となったため、無記名の投票で決定することとなる。なお、副会長は会長の指名とすることとなった。投票の結果、有効投票12票中、小林隆逸委員5票、富樫文雄委員7票となり、富樫文雄委員が会長に選出された。)

7. 正副会長あいさつ

富樫会長 … 合併当時、町議会議員として合併を進める立場にもあったが、今日、合併して1年半になった。当地域の良いものを堂々と酒田市民に発信しながら、同時に皆で仲良く楽しく、地域の活力を育てていかなければならない。大先輩の小林さんが変わって協議会を進めていくことになったが、地域の活性化、生活環境の向上のため職員の皆さんとも一緒に汗を流して行きたい。なお、副会長の選出は、協議が終わった後のその他で提案させていただくのでご了解願いたい。

8. 会議録署名委員の選出 … (1番 丸山賢治委員を選出)

9. 報告

(1) 平成19年度の地域づくり予算等について

(地域振興課長より地域づくり予算の仕組みと19年度予算の内容について説明。)

○ 佐藤(富)委員

花いっぱい運動推進事業は今進められている農地・水・環境保全向上対策事業と、地域において重なる部分も多くやや混乱も見えるがどうなのか。

○ 建設課長

花いっぱい運動推進事業は公共施設への植栽に限られている。なお、詳細は広報平田版5月号でお知らせする。

○ 産業課長

農地・水・環境保全対策事業の植栽対象は、県道や市道は省かれる。農道、地区集会施設、集落内の環境向上に活用してほしい。

○ 佐藤（良）委員

生涯スポーツの振興事業として、前年度は分館交流スポーツ大会を中止したが、今年度はどういう方針か。

○ 教育振興室長

前年度は酒田市スポーツ交流会のため中止したが、19年度は実施したい。近く関係者の会合を行い詳細を詰めたい。なお、若干予算が増となっているが、全市の大会参加のための費用である。

○ 佐藤（達）委員

予算として19年度は減っているのか。減ったとすればその理由は。

○ 地域振興課長

経常的費用の削減などで個々には若干の減少はある。今年度、町史編さん予算が中巻の発刊のため大きくなっている。このため地域づくり予算の項目から他の項目に変更したため、地域づくり予算全体では少なくなっている。

(2) 総合計画の策定状況について

(地域振興課長より現在の策定作業状況、及び総合計画の理念、大綱等の骨格について説明。また、まちづくり意見交換会が開催されることをお知らせした。質疑は特になし。)

(休憩)

10. 協 議

(1) コミュニティ振興組織について

(地域振興課長より、新たに委員となられた方もいるため、これまで協議会で話し合われた内容等を「協議会だより第3号」として全戸配付した資料を基に説明。また、これまでの協議をふまえ、19年度はコミュニティ組織の枠組みを、区長会や分館関係者等と一緒に検討していくこととし、そのスケジュール案を示し委員の意見交換に移った。)

○ 小林委員

事務局から提示された今後の工程については、当協議会の過去2年の協議を整理して提示

されたもので、進め方に異論はない。ただ、市長の発言にもあるようにパターンAの10コミュニティは現実に取り上げることが不可能であり、住民への示し方には注意が必要である。住民は安きにつきたくなるもので十分検討して示すべきである。何よりも主体的に住民の意向をまとめ上げることが最重要である。

○ 地域振興課長

新たに委員になられた方もありこれまでの経過も含め説明した。他の機関や住民への説明の際は、B、Cの2パターンについて誤解のないよう示したい。スケジュールについては、組織化を行政側が押しつけるのではなく、住民が主体的に選択していくための方法として設定してみた。

○ 佐藤（良）委員

市長が先ほどのあいさつの中で、「平田独自のやり方で頑張る方法もある」と発言されていたが、どうとらえれば良いのか。10コミュニティでも良いということか。

○ 小林委員

市長との懇談も行ったが、10コミュニティは受入れがたいという認識のようだ。

○ 佐藤（富）委員

「それぞれに独自性があっても良い」という発言は、私も気になった。

○ 地域振興課長

旧酒田市のような「原則小学校区」にはこだわらない地域のくくりや、分館の枠組みなどを考慮した平田地域の独自性を発揮して欲しいということであろう。また、市長は組織化にともなって、住民の経費の負担がどうなるか検討する必要があると常々言っている。このこともふまえて独自性があっても良いと言ったのではないか。

○ 齋藤委員

今後の進め方で、この定例の協議会だけでは時間が少なくコミュニティ組織について十分な検討ができないので配慮願いたい。また、19年度予算に絡んで松山では統合保育園を現在の支所敷地に建設、八幡では計画の中央公民館に支所機能を入れ、現支所は解体するという考えもあると聞く。支所が窓口業務化するなど、機能の縮小が早くなる懸念もあり、このことはコミュニティ組織のあり方にまで影響する。

○ 地域振興課長

これまでの協議会では、協議すべき課題も多くコミュニティ振興組織に関する話し合いの時間が短かったことは反省する。特に、今年は時間がなければ、なかなかまとめきれものではないと認識している。十分配慮していきたい。

○ 総合支所長

支所のあり方については、19年度は4課1室体制が継続されたが、20年度はさらに検討されていくこととなるだろう。また、住民にとっては、職員の交流も進み支所に顔なじみ

がいなくなることへの不安もあるだろう。指摘のとおり、松山、八幡では支所機能の検討もなされていくが、平田でも広域事務所機能（消防本部の機能の一部など）が検討されている。

○ 齋藤委員

支所の廃止、単なる窓口化は時間の問題であろう。その中でコミュニティを考えたとき、この地域の核となっていけるのか不安がある。

○ 菅原委員

婦人会でこのコミュニティの話題をすると、分館からコミュニティ振興組織へという流れなどわからないと言う声の実態だ。でも話を聞きたいという意欲はあるので、是非わかりやすく説明会などを進めていただきたい。

○ 地域振興課長

興味を持っていただいていることはありがたい。出前講座も行うので連絡いただきたい。

○ 富樫会長

色々な意見も出たが、19年度の進め方、方針については当協議会として決定することでいかがか。（一同、意義無しの声。）

では、この方針で、関係団体等とも今後検討を進めていくこととする。

(2) 協議会の今後の予定について

（地域振興課長より、今年度の協議会の予定について説明。また、支所事業としての地域づくり懇談会への委員の出席を要請し、委員の了承を得る。）

(3) その他

○ 富樫会長

先ほど申し上げた副会長の選任の件について、私から指名させていただくので、皆様のご承認をお願いしたい。1号委員の菅原律子委員を副会長に推薦する。

（一同、了解の声と拍手。）

○ 菅原副会長

ただいま指名をいただきました。協議会委員として2期目になりますが、大変むずかしい時期であり、特にこれから2年間はさらに厳しいものと思っている。皆様のご指導とご協力をいただき務めていきたい。

11. 閉 会 … （進行の地域振興課長が閉会する。）